

# 人々の生活を支えるために

## ■私の港湾魂

私が建設業に従事してるうえで、いつも意識していることは、人々の生活を支えたいということです。いま携わっている新海面処分場は、東京港内最後の処分場であることから、都民の生活を支えるためには必要不可欠な事業です。そのため技術者としての使命感や責任感を感じるとともに、充実した日々を過ごしています。

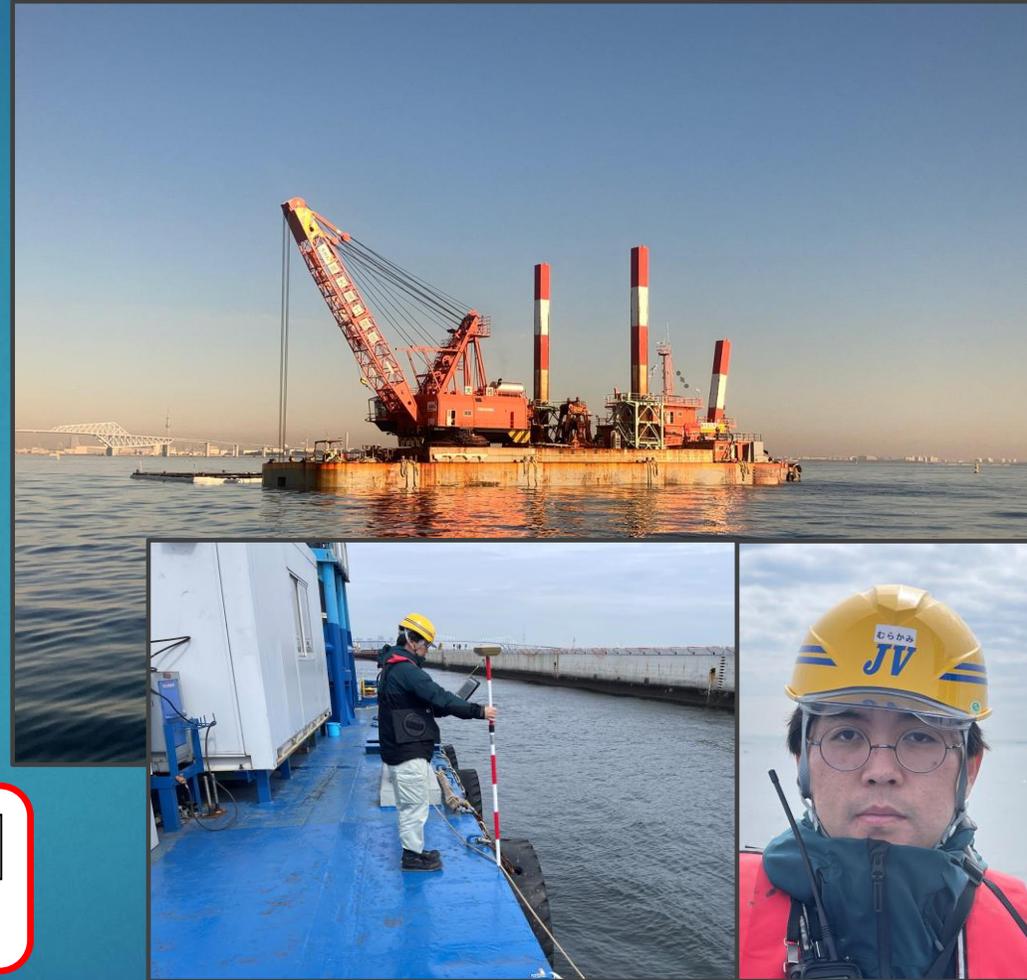
また建設業では慢性的な人手不足・担い手不足が問題となっています。

私のような若い世代が建設業を盛り上げていき、魅力ある業界を目指していかなければならないと考えています。

建設業界のやりがいや面白さを後輩たちへ積極的に伝えていきたいです。

**若築建設(株)の若手技術者が現場の声をお伝えしています！**

<https://www.wakachiku.co.jp/recruit/fresh/interview/>



東京都港湾局 東京港建設事務所 埋立整備課と新海面処分場の整備に取り組んでいます  
若築・家島建設共同企業体  
新海面処分場 (5) □ブロック南側護岸建設工事 監理技術者 村上 和也(若築)